

市長就任のごあいさつ

「希望の街 下関」の 実現に向けて

3月14日に行われた下関市長選挙で前田晋太郎氏が当選し、下関市長に就任。前田市長の2期目の市政が始まりました。

前田 晋太郎

昭和51年(1976年)生まれ。
下関市出身。
長崎大学水産学部卒業後、下関に帰郷。政治家事務所の勤務を経て、下関市議会議員を務める。
平成29年3月、下関市長に初当選。
現在2期目。
趣味はギターと釣り。



初心を忘れることなく

皆さんこんにちは！ 前田晋太郎です。
このたび、大変多くの市民の負託を受け下関市長に再び就任することができました。

改めて市政をお預かりするその重責に身の引き締まる思いではありますが、初心を忘れることなく、すべての市民の幸せと安心安全な生活を願う、これからも市長としての仕事に全身全霊で取り組んでいきます。

また、これまで4年間の市政運営に対する温かいご理解ご協力をいただいたことも併せて御礼申し上げます。

深い歴史、豊かな自然、そして素晴らしい人々に支えられて今日まで歩んできた愛する郷土下関は全国に誇れる素晴らしい街です。人口減少問題をはじめとする課題は山積みですが、私は市長として明るい未来に向けてこれからの一つ一つ課題解決に積極的に取り組んでいきます。

市民目線の行政運営を

昨今頻発する大規模な自然災害や新型コロナウイルスとの遭遇など、われわれが本能的に求める「安心安全な生活」

とは、もはや当たり前ではない世の中となっています。

だからこそ絶対的に信頼できる市政が必要です。その組織を預かる行政の長として、広く市民のご理解をいただけるよう常に「市民目線」に立ち、これまで以上に「分かりやすく」「安心感」のある行政運営を行ってまいります。

行政情報を早く正確にお届けします

下関市の行政サービスは多岐にわたり、さまざまな制度が存在していますが、皆さんにきちんと伝えられなければ何の意味もありません。

情報は「伝える」という作業は実は非常に難しく、かつ早く正確でなければなりません。私は4年間の任期中、この課題について、強い意識を持ち改善に取り組んできました。

最新のスマートフォン性能は素晴らしく、私はこの点に着目し、情報提供アプリ「ケイション」も「しまちアプリ」を昨年からはスタートさせました。その内容はお住まいのごみ捨て情報から学校行事の情報、災害火災情報や警察重大事件情報など：ここで挙げれば切りがないほどの幅広い情報が、早く正確に皆さんのお手元に

届く仕組みとなっています。ぜひ一人でも多くの皆さんに活用していただきたいと思えますし、またそういった機械的な扱いが苦手な方々も、これから積極的にチャレンジしていただきたいと思います。

また私の考えを伝えることのできる、市報の「市長コラム」もこれからもしっかりと続けてまいります。

すべての市民が主役の未来に希望を感じる街へ

他にも、火の山の再整備やあるかばーと開発をはじめとする関門海峡の眺望を生かした観光政策や、スポーツを愛する方々のための市立総合体育館の整備を推進します。

そして、農林水産業を支える元気にしていくための政策や高齢者や障害者を元気にする社会福祉センターの再整備など安心できるまちづくりはもちろんです、人口減少やコロナに負けない強い下関市を目指し、すべての市民が主役となり未来に希望を感じることができ「希望の街 下関」の実現に向けて、私自身先頭に立って引き続き邁進してまいります。

これからも市民の皆さんの温かいご理解ご協力をどうぞよろしくお願いいたします。